

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第22号 2011年12月15日発行【真田地域に全戸配布】

元気な先輩がたくさんおられる中、今回は傍陽中組自治会の鳴沢一美さんをご紹介します。85歳の鳴沢さんは農作業に励んでおられ、特に耕運機操作はお手のもので、言わばバリバリの現役百姓マンです。また、鳴沢さんは歌が大好きで、長寿会の旅行等では率先してカラオケで歌われます。そんな鳴沢さんのお宅にお邪魔させて頂き撮影したこの一枚。長年連れ添った奥さんの智重さんとのツーショット。微笑ましいひとコマです。

紹介者：傍陽中組自治会 通信員No.14 柳沢邦男



真田地区の子どもたち、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！
掲載無料。お気軽に編集部までご連絡ください。



あなたの骨盤、**ゆがんでない** 自信ありますか？

骨盤を整えて、キレイな姿勢を取り戻しましょう♪

カイロプラクティック ワラ



↓ まずは、お気軽にお問い合わせ下さい ↓

◆完全予約制◆ TEL 0268-72-3272

◆受付時間◆ 9:00～21:00(時間外もご相談下さい)

かり丸くん



真田グッズ

かり
真田雁丸屋

詳しくは

かり丸くん 又は **さくらゆき**

で **検索** (Tel.0268-23-7313)

行ってきました！



今回は、

真田地域一人暮らし老人親睦会です



真田地域の一人暮らし老人親睦会は 2 か月に 1 回開催されており、毎回様々な企画で皆さん楽しまれています。

今回は参加会員 28 名がそえひ保育園に出向いて、39 名の園児たちと交流を深めました。

【歌の披露】

最初に、年少さんが「森の音楽家」、年中さんが「世界中の子ども達が」「どんな色が好き」、年長さんが「ありがとうの歌」「ドラえもんの歌」を披露してくれました。



【肩たたき&握手】

次に【肩たたき】の歌に合わせておじいちゃんおばあちゃんの肩たたきをし、【握手でこんにちは】の歌に合わせて園児達が握手をして回りました。



【手作りのプレゼント！】

園児手作りのコースターのプレゼントを頂き、最後にお互い感謝を込め握手をして、笑顔いっぱいの園児との交流会が終了！



園児と交流しての感想

★楽しかったです。元気をもらいました。★珍しく保育園に行けたので、見物できてよかったです。★私たちは周りに小さい子がないので、今日は小さい頃の事を考えたりして懐かしかったです。★童心に返って交流できました。★手遊びをするのが可愛くて、肩たたきをしたり懐かしく思い出されました。★園児の手がやわらかい手なので、良く肩に響いて良かったです。★孫も大きくなったので、小さい子との交流が遠のいていたのでうれしかったです。★ひ孫くらいの子ども達だったが、礼儀正しいし、しっかり意思表示もするしびっくりしました。★保育園の先生方もよくやっているなと思いました。園児たちと交流すると自分自身がわくわくしてきます。★可愛くて感激しました。★保育園の先生のピアノが上手でした。園児達がそれに合わせて踊っているのが良かったです。★日頃の教育がよいなと思いました。★個々の子どもの個性が出ていて良かったです。



その後、老人福祉センターに戻り、生活改善推進協議会の方に作って頂いた昼食をとりながら話に花を咲かせました。メニューは、キノコとごぼうの炊き込みご飯、色とりどりの野菜を使った煮物、白和え等 4 品に、お吸い物と手作りデザートです。皆さん完食され、心もお腹も満腹に！またお会いしましょうね。

真田地域包括支援センターは、
高齢者の生活を支える総合相談窓口です
☎ 72-8055 有線 2080
(総合福祉センター内 社会福祉協議会)

気になるあの店

レストラン グッティー

菅平高原 1223-756

TEL 74-2220

営業時間：11時～16時

(7～8月、12～3月は無休で営業、
年間を通じて夜は予約のみ)



カナダ産の太い柱が自慢のログハウスで、豊富な種類が自慢のピザ、カレーやカレーのチーズ焼き、パスタなどを食せる「レストラン グッティー」。4代目のご主人が腕を振るっています。どれも地元の食材。小麦粉も漂白せずに、天然酵母を使用したりと、そのこだわりは味が証明しています。

上の写真はランチのピザ！トマトとガーリック＆アンチョビをハーフでいただきました。ガーリックは新鮮で、チーズは2種類の食感が楽しくて「本当においしい！」。写真を撮るのを忘れるくらいでした（ランチは平日のみ）。ピザを焼くお釜はミラノから輸入したという立派なお釜で大きな煙突が印象的です。

驚いたのはサラダのトマトや野菜の甘



さ！無農薬にこだわり、自信をもって提供しています。自家製ドレッシングの味がピタリ。

冬になると大きな窓の外はもうゲレンデです。大松ゲレンデの第6リフトの下、スキーで滑り降りたらそのままコーヒータイムが楽しめます。

レストランの入り口には北欧風の真っ白なロジ「グッディハウス」があります。12月からオープンし、20名くらい宿泊できます。

「最近ではスキーに行っていないなあ」というあなた、この冬は是非お出かけ下さいね。

【お詫び】前号「気になるあの店」の真田寿司様の電話番号に誤りがありました。正しくは、72-3480です。訂正しお詫びします。



《時のできごと》本原村編

幻の上信越鉄道説

旧本原村の近代史を知るには、大正末期に発行された「烏帽子の華」と「本原時報」を見ると、当時の様子がみて取れる。幻の上信越道とは・・・

上田から群馬県長野原間（32間）の鉄道計画、この件について、時の村長神林氏は、この計画は、本原地域の発展に大きく影響するとして笑顔を浮かべて談話している。上信越鉄道期成同盟会頭の三井祭作氏などの案内で、鉄道省より派遣された久保田路線調査課長、横沢技師の一行は、上州方面より実地調査をした。上田の助役と長、神川の村長は、一行を長村沢まで出迎える。この鉄道も今までは随分困難視されていたが、今後の調査の結果、難工事の所もあるが、比較的容易に出来るだろう。距離は上田長野原間で約 32 里の予定で建設費は約 700 万円位と話された。一般から今後も大山鳴動鼠一匹じゃないでしょうナアと問い返せば、村長は言に力を入れて「今度は大丈夫です。工事も難工事でないということは出来ませんが、併し今までにももっと難工事の線路が許可されていますから、この工事も許可されましょう」

「信越線も輸送能力の上がらないという事は、あの碓氷という難場があるためであって、こんな問題も上信越鉄道の完成の暁には、非常に緩和され、こ

の路線は国家的にも、地方経済的にも必要である、と村長は力説している。同じ頃、上田と松本間の鉄道問題も進み、上田川西地域でも、上松鉄道期成同盟会と組織され、上松両者とも、非常に密接の関係を有するもので、両者共に提携して互いに協力し合ってこの問題に当ることが最も肝心で、又最も有利の事ではないかと思う。8月ごろには上田の市役所で、松本の市会議員と、上田の市会議員と会して、上松鉄道問題に関して協議をする。「出来る時期は余り遠くはないでしょう、まずこの路線は将来有望です」と力をこめて語られた。大屋真田間の道路が開通しこの鉄道が敷設されたら、わが本原村も文化の域に進むことが出来るだろう。

以上のような談話が、大正 12 年 6 月 15 日の発行「本原時報」第 3 号に神林村長談として登載されている。

文／若林幸正（通信員 NO.49）

ひとくちメモ◎鉄道の背景

- ・信越線（直江津～軽井沢）は明治 21 年開通
- ・温電（丸子上田電鉄）（上田～真田）は昭和 13 年開通

※ この時代に郷土に起こった上信越鉄道建設計画は地域住民の関心を高め、郷土文化の発展と地域産業の発展につよい期待をよせていた。神林村長の強い心情が談話の中にみてとれる。

CAFE & GALLERY
Seam
～茶庵～




日替りランチ 600 円《コーヒー付 700 円》数に限りがあります。
軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもごさいます。
TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日
11:00 ～ 17:00 (ラストオーダー16:30)

◇◇求む！こんな物件◇◇
「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎！
「こんなとこ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり…
カントリーハウス 21 は田舎暮らしを夢見るお客様のお手伝いをしています。
↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ↓
COUNTRY HOUSE 21 真田町本原 1967-33 (担当: 石井)
いきなりホットライン: 080-5108-9701
ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>

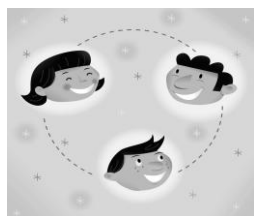
おらが **1 番**!

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第 2 2 回◆

渡邊 重雄さん (横尾自治会在住) をインタビュー!!!

僕は、今グループホームで暮らしています。いずれは一人暮らしをして、それから結婚したいと思っています。何が得意かっていうと、人を笑わすことですね。最近は、人の物まねにはまっています。言い方の特徴をつかむと、けっこう笑ってもらえます。笑うっていいですね、心身の健康にも。

他には旅行が好きですね。一番行ってみたいと思っているのは、熊本です。なんで熊本かというと、父さんのふるさとだからです。幼い時に父さんが亡くなったので、あまり父さんと過ごした思い出はありません。でも大好きな存在です。父さんがどんなふるさとで過ごしたのか是非知りたいです。



一緒に真田のまちを 再発見しませんか？

身近な情報を編集部へお寄せくださる
通信員を募集しています！

現在の通信員
55 名



編集後記 ●長いようで短かった平成 23 年。激動の 1 年でしたが皆さんにとってはどんな年だったのでしょうか。人を想い、家族を想い「絆」の文字が胸を打った年でした。いざという時にはやはり「遠くの親戚より近くの他人」です。隣近所、地域で支え合えることが、安心して暮らせることではないでしょうか。[田中文子]

●1 年間「真田生き生きふるさと通信」をご愛読いただきましてありがとうございました。来年はさらに地域に密着した情報の発信媒体として配布が待ち遠しくなるような「かわら版」になれたらと思います。多くの皆様が「通信員」になっていろんな企画や記事をご提供いただければ幸いです。みなさま、良いお年をお迎えください。[田中晋]

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ)では、平成 21 年 10 月 26 日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいとこ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。通信の発行もその一環です。

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は 2012 年 1 月 15 日の発行です。